



令和3年10月より常勤となった 医師のご紹介



若杉 正嗣
わかすぎ まさし

整形外科 若杉 正嗣先生（わかすぎ まさし）

- ◎ 経歴 新潟市秋葉区出身
新潟大学医学部卒業
これまで新潟大学病院・県立新発田病院・
新潟中央病院・長岡中央総合病院・
魚沼基幹病院・県立中央病院などを歴任
- ◎ 一言メッセージ
阿賀野市を含めた近隣の方々に身近な病院と
なるように努めていきたいと思ひます。
病気・疾患に対して、わかりやすく説明をして
いきたいと思ひますし、不明な点や質問があれば
遠慮なく聞いていただければと思ひます。

♪♪♪♪♪ 長年のボランティア活動へ感謝 ♪♪♪♪♪

8月25日、コーラス指導ボランティア・和久井久子先生へ感謝状の贈呈を行ないました。和久井先生は、2006年より女声合唱団「向日葵」、2009年より職員合唱団「虹」のコーラス指導を担当し、七夕コンサート・クリスマスコンサートを大いに盛り上げてくださいました。

贈呈式には、長年一緒に活動してきたピアノボランティアの鈴木基子先生、お世話になった職員達も駆けつけて、感謝の拍手が鳴り響きました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症予防の一環で、昨年より年2回のコンサートが中止となっています。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願うばかりです。



(和久井久子先生と病院長)

院長のつぶやき

永年にわたり、病院合唱団をご指導いただきました和久井久子先生に、心より感謝申し上げます。
さて、地域は高齢化しており、整形外科の重要性が増しています。骨関節疾患センターの充実を図り、さらにお役に立てる病院を目指して参ります。

薬学部生 実務実習

当院では薬学部5年生の実務実習を受け入れています。今年度は計6名の予定です。実務実習は、「臨床に係わる実践的な能力を培う」ことを目的として、薬局と病院で11週ずつ行います。病院実習では処方調剤や注射薬セット、チーム医療への参加、薬剤管理指導などを行います。現在は新潟薬科大学の2名が、毎日様々な経験をしています。彼らに実習の感想を聞いてみました。

残間 勝利さん
私の将来の薬剤師像は、他職種の方と連携を密にでき、患者さんから信頼されるコミュニケーション能力を持つ人です。患者さんの治療に貢献できる薬剤師を目指します。

曾根 正智さん
病棟業務の介入及び医療への参画を通して、患者さんへの関わり方、他の医療従事者との協力関係の構築などの重要性を学び、薬剤師として必要な知識の向上、臨床的な分析力、コミュニケーション能力を深めることができました。

この実習により彼らが多くのことを学び、理想とする薬剤師になることを願っています。

